

関中学校だより

目指す学校像 一人一人の生徒が生き生きと学び活動する学校

地域、家庭とともに歩む学校 教職員が生きがいを持って働ける学校



関中学校 HP にアクセス

第 2 2 号

令和 7 年 1 2 月 1 2 日 発行

亀山市立関中学校

文責：堀内

で あ がくしゅう とお 出会い学 習 を通して

12月2日(火)、9日(火)に、UD夢ネット亀山の笠井さん、宮村さん、倉田さんに来校していただき、出会い学 習 を行いました。3名の方には障 がいがあり、体 を自由に動かすことができません。出会い学 習 では、宮村さんから重度障 がいの者の暮らしについての紹 介があり、バスの利用方法や音の振動で操作できるパソコンの利用について教えてもらいました。倉田さんからは、車 いすバスケットやユニバーサルデザイン(UD)のことについてお 話 いただきました。スマホの機能、フードコートで使用されているベル等も、音と振動を組み合わせる等、UDの視点があることに気づきました。講演の後、一緒に給 食 を食べ、ふれあいタイムをもちました。クイズをしたり、車 いすバスケットをしたりして交 流 を深めました。宮村さんの車 いすを押す体験をした生徒もいました。この出会い学 習 を通して、「社会にいくらユニバーサルデザインが整備されも、人の思いやりや支えあう気持ちに勝るものはない」「障 害のある人、お年寄り、妊婦さん、外国の人などすべての人が街に出られるのが楽しい社会」ということを学ぶことができました。すべての人が幸 せに暮らせる社会を目指し、私 たちはこれから行動していかなければならないと強く感じました。



せいと かんそう 生徒の感想

・障 害のある人も、そうでない人も一人ひとり同じ人間で、大切な個性であるということ を学んだ。障 害はあっても私 たちと違いはなく、みんなで話せて楽しかった。倉田

さんが車 いすバスケット用の車 いすに座ってシュートをするのは、腕の力だけだったし、スピードもすごかった。

・障 害を生まれながらに持っている人はたくさんの方のつらいことを経験していると思うけど、宮村さんは何事もポジティブに考えることができて

いたので、私 たちも見習わなければならないと思いました。また、自分のやりたいことを全力でやっている姿をすごいと思いました。

ユニバーサルデザインとは

年齢、性別、言語、障がいの有無などにかかわらず、誰もが利用しやすいようにまちづくりやものづくり、情報やサービスの提供を行っていくことです。

ユニバーサルデザインの7原則

- 1 誰でも使えて手に入れることができる(公平性)
- 2 柔軟に使用できる(自由度)
- 3 使い方が簡単に分かる(単純性)
- 4 使う人に必要な情報が簡単に伝わる(分かりやすさ)
- 5 間違えても重大な結果にならない(安全性)
- 6 少ない力で効率的に、楽に使える(省体力)
- 7 使うときに適当な広さがある(スペースの確保)

ユニバーサルデザインとバリアフリーとの違い

バリアフリーは、もともとある建物や設備に高齢者や障がいのある人などにとって「障壁(バリア)」になっている部分があれば取り除いていこう」という考え方です。

一方、ユニバーサルデザインは、始めからできる限り多くの人の人にとって利用しやすいよう、誰にとっても「バリアが生じないよう配慮してつくる」という一歩進んだ考え方です。

バリアフリー

段差があっても車いすなどでは通れないので、後からスロープを付ける

ユニバーサルデザイン

始めから段差のない通路にして、どんな人も公平に使えるようにする



ぜんがくねん
全学年、ユニバーサルデザインとバリアフリーの
ちが とう
の違い等について学 習 しました。

カメヤマ スポーツ ウィーク と く Kameyama Sports Weekの取り組み

11月27日(木)から12月3日(水)は、Kameyama Sports Weekでした。亀山市内の全小中学校で豊かな心と健やかな体をはぐくみ、体力向上の基礎を養い、体を動かす習慣づくりを行う期間です。関中学校でも体育の時間に「体ほぐし運動」として、柔軟運動や馬跳び、座った姿勢からのダッシュなどに取り組みました。11月の体育の授業ではサッカー、バスケット、アルティメットの種目を行っていましたが、今後は、持久走に取り組み、体力向上をめざします。



もり もくざい じぎょう 森と木材のふれあい事業

12月3日(月)、鈴鹿森林組合と亀山木材産業協同組合の方にお越しいたき、1年生対象に森と木材のふれあい事業(みえ森と緑の県民税を活用)を行いました。この事業は、「森林の働きや林業について学ぶ」「地域の森林が私たちの暮らしと深くかかわっているということを確認し、森林保全の大切さを理解する」というねらいで行われました。森林の授業では、亀山市の面積の63%が山で占められていること、森林が大雨などの災害から守る働きがあることなどを学びました。また、関中学校の多目的ホールにある木は、地元から運ばれてきたという話もしていただきました。

木工教室では、実際に電動ドリルを使って、亀山産の木材を加工してスツールを作りました。生徒たちは木材産業協働組合の職員の方に手伝ってもらいながら、要領よくスツールを完成させていました。このスツールづくりを通して、木の加工品が生活の中で身近に利用されていることを実感できたと思います。後日、生徒たちはスツールを持ち帰りますので、ぜひ、ご家庭で活用してください。よろしく願います。



お知らせ

- ・保護者懇談会【12月18日(3年のみ)、19日、22日】へのご参加よろしくお願いします。保護者懇談会では、学校生活や学習の状況、3年生は、進路決定に向けての話し合いや入試の出願手続きなどを行っていただきます。ご家庭でのお子様の様子をお伝えいただけると嬉しいです。
- ・学校評価アンケート(つながる連絡にて12月4日(木)配信済)のご協力よろしくお願いします。アンケートの結果を分析し、学校教育活動の振り返りをさせていただきます。
- ・PTA バザーの売上金は141,360円でした。この収益は学校の教育活動に使用させていただきます。保護者の皆様、地域の皆様、ご支援、ご協力、本当にありがとうございました。